

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	墓地経営許可等に関する事務					
担当部署・課長名	環境	課	緑化推進	係	課長名	宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 5	-
【施策名】 緑の保全・創出	総合計画書 (ページ)	91	

予算名	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	6	環境衛生費	事業	2	墓地の経営許可等に関する事務費
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------	----	---	-----------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 墓地の経営を行おうとする者。	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 経営許可申請数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 墓地等の経営の適正化を図り、もって公衆衛生その他公共の福祉の確保に寄与することを目的とする。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 墓地の経営許可数
	③ そのために何をしましたか。 ・墓地等の経営許可に関して条例に従い厳密に審査して許可を行った。 ・東大和市墓地等の経営の許可等に関する条例に基づき墓地計画の事業者と墓地設置の隣接住民と協議を行った	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 0件

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	件	1	0	0	
	成果指標	②の数値	件	1	0	0	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	件	①1 ②3	①1	0	

3 経費	事業費(実績)	円	20,034	12,096	6,480	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源					
	一般財源	円	20,034	12,096	6,480	
	特定財源	円				
	(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)					
所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2		
所要人数(再任用)	人					
職員人件費(再任用以外)	円	1,653,400	1,650,600	1,648,800		
職員人件費(再任用)	円					
事業費+人件費	円	1,673,434	1,662,696	1,655,280		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成24年に都から権限移譲により市で墓地等の経営許可事務を行うことになった。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 都市計画緑地内で墓地の造成計画があったが、裁判所による競売にてトトロの基金が用地を買収した。

仕 事 の 内 容	墓地経営許可等に関する事務			
担当部署・課長名	環境	課	緑化推進	係 課長名 宮鍋 和志

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	特になし。		

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容		
	特になし		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。		
(3)(2)を踏まえた今後の課題			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	・当市独自の審査基準を策定したので、事案ごとに審査基準に照らし進める。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
・事案ごとに墓地経営審査基準に照らし熟知する。			
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			

成 果	成果を向上させる。	経 費	仕事の経費は維持する。
--------	-----------	--------	-------------